

令和4年度 第2回宇和島市地域公共交通活性化協議会

議 事 要 旨

日時 令和5年1月10日（火） 14時00分～14時50分

場所 宇和島市役所 602会議室

出席 （委員） 玉田委員、宮本委員、浅野委員、船田委員、森藤委員、田中委員、
稲荷委員、高瀬委員、二宮委員、一色委員、菊池委員、武智委員、
弓削委員、窪委員代理人、町田委員、山口委員（順不同、敬称略）
（オブザーバー） 愛媛県南予地方局地域産業振興部地域政策課 須山課長
（事務局） 宇和島市企画課：木原、渡邊、川井、古田

1 開会

2 開会あいさつ

3 議事

（1）協議事項

第1号議案 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
（地域内フィーダー系統確保維持計画）

・事務局より令和4年度分（令和3年10月1日～令和4年9月30日）のフィーダー系統の事業実績及び評価について説明。

・質疑応答

（委員） コロナの関係で厳しい状況が続いており、12系統で地域性もいろいろあると思うが、引き続き目標達成に向けて取組みをいただければと思う。

（委員） 資料の中で数値を比較をしている部分があると思うが、可能であれば、より比較しやすいように過去5年程度の数値を折線グラフで表したものを添付するなどしていただければ。

（事務局） 過去5年間の資料は次回以降の会議から作成する形で対応したいと思う。

（委員） この資料は、昨年との比較ではなく、計画に対する比較であり、また、コロナ禍という特異な状況で前年との比較も捉え方が難しい部分もあると思うが、これまでの推移を見ていく上では、今のご意見のとおりだと思うので、今後は参考資料として確認していただければ。

愛媛運輸支局の一つ伺いたい、計画性についてはA評価で適切なものの、実績はC評価が多くなっているが、これはやむを得ないものと判断してよいのか。

(事務局) 実績が当初の予定していた計画を下回りC評価(70%未満)となっているものについて、コロナの影響が関係しているという点についてはやむを得ないものとする。一方で、対象エリアの人口が減れば利用者も減るため、要因の分析は絶えず行い、利用が見込めなくなれば路線の見直しなどが必要になってくると考える。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、承認。

第2号議案 宇和島市地域公共交通網形成計画に係る事業報告について

・事務局より各事業の実施状況について説明。

・質疑応答

質問・意見なし

第3号議案 吉田地区コミュニティバス停留所の追加について

・事務局より停留所追加の概要について説明。

・質疑応答

(委員) ルートについて伺いたい。これは吉田公民館前をどのようなルートで通るようなイメージか。

(事務局) 西側に向かって直進していき、ルートで記す奥側を右折し、乗降口の左側が「吉田公民館前」停留所になるよう進んでいく。利用者を乗せて再び出発したら、吉田支所の玄関前を通過後に右折して道路に出ていき、南に直進したあとに左折するイメージ。

(委員) 今の説明では、吉田公民館を利用する方と導線が交わるような形になるため、接触などに注意して安全に運行していただければと思う。

(事務局) この資料は、ルート案であるため今の意見を踏まえ、吉田公民館等の関係者を交えてもっと具体的に話を詰めてもらえればと思う。

(委員) 大良線の1便、2便は吉田公民館が開いていないため、利用する方はいないように思う。便によって停車するしないがあるのは、少し混乱する部分もあると思うが、現実的に利用する方がいないのであればわざわざ停車する必要があるのか。ただ、時刻変更も2分程度のため、停車しても特に問題はないようにも思う。

もう一つが、公民館内にソファはあるが、外にベンチがないため、公民館内で座って待っていたお年寄りが、バスに置いて行かれ

ないようにベンチの確保も今後検討していく必要があると思う。

(事務局) 大良線の中で、「中浦集会所前」以降が停車しない便があるように大良線の1便、2便で「吉田公民館前」に停車しないとすることは可能。吉田支所等と相談のうえ、改めて決定したいと思う。

(委員) 周知はどのようにする予定か。

(事務局) バス停への表示やHP、回覧等を利用して周知したいと考えている。

・質疑応答後、拍手による採決を行い、承認。

(2) 報告事項

●生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の事業完了について

●地域公共交通計画の策定について

・事務局より事業完了報告及び地域公共交通計画の策定について説明。

・質疑応答（地域公共交通計画の策定について）

(委員) 令和2年の法改正に伴って、数値目標を新たに設ける必要があること、また、市民の方だけでなく、外から来た方の移動手段を確保するといった観光振興など、地域の移動手段であるバス、鉄道、船舶、タクシー等を総動員したものを計画に盛り込んでいく必要がある。また、県や周辺市町の計画とも連携し、宇和島市内だけでなく、エリアの移動手段を確保するという視点も取り入れながら策定を進めていただければと思う。業界を取り巻く状況は厳しい部分も多々あると思うので、今後策定する計画が将来のよりよい宇和島に繋がっていくことを期待する。

(委員) 今後、策定する計画に数値目標について、現状はC評価が多い厳しい状況だが、今後の補助に影響してくることはあるのか。

(委員) 事業評価は、その年度の目標に対しての評価を行うため、C評価であることをもってただちに補助が打ち切られることはないが、このままの状況でいいというものではないため、改善点などについて意見を聞いたり相談したりすることは必要になってくると考える。

(事務局) より多くの方に利用してもらうために、利用料などについてアンケートをとるなどしてみてもいいのではないかと思う。

(委員) 計画を策定する際は、アンケートなどで見直しを行うようになるが、スケジュールや内容について、事務局から簡単に説明してもらいたい。

(事務局) 来年度に策定作業を行っていくが、その中で先ほどお話のあったアンケートの実施も考えている。具体的な時期については未定だが、各事業者への聴き取りも含めてみなさんのご意見を伺っていきたいと考えている。

(委員) 先ほどの料金についてだが、利用者側からするとより安い方がいい

のは理解するが、設定を安くしすぎると採算がとれなくなり、その赤字分は自治体が負担することになる。今後策定する計画には「市負担額」を記載する必要があるため、この赤字が膨らまないように内容を考えていく必要がある。

また、自家用車がなければバスやタクシーに乗ればよいという考えもあるが、運転手不足問題が宇和島市以外の地域でも発生しており、それらについても、今後考えていく必要があると考えている。

4 閉会